

会員各位

群馬県歯科医学会
会長 村山 利之
(公印省略)

令和5年度群馬県歯科医学会「公開セミナー」開催のご案内

秋晴の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のことと拝察申し上げます。また、平素より当学会の事業運営にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、近年「口呼吸」が口腔乾燥から免疫低下を起し新型コロナウイルス感染症時のリスクを高めること、また成長期の小児に関しては歯列不正を惹起することが知られております。この「口呼吸」の回避には鼻の器質的疾患の理解が重要となります。

そこで、今回は、耳鼻咽喉科長谷川医院 長谷川 央 先生を講師としてお招きし、鼻疾患のうち特に頻度の高いアレルギー性鼻炎について病態の基礎から臨床での治療の実際について、下記のとおりご講演いただくことになりました。会員の先生方におかれましては、歯科とも非常に関連の深い鼻炎について学び、あらためてご自身の健康を見直す機会にいただければ幸いです。

記

日時 : 令和5年11月18日(土) 午後7時～午後8時30分
場所 : 群馬県歯科医師会館 4階 第2会議室
テーマ : 「耳鼻科医からみるアレルギー性鼻炎の治療戦略」
講師 : 耳鼻咽喉科長谷川医院 長谷川 央 先生

- ※ 参加ご希望の方は11月10日(金)までに下記によりお申込ください。
- ※ 日本歯科衛生士会会員は、日本歯科衛生士会研修取得単位の「リフレッシュコース」1単位を取得可能です。

★申込フォーム★ ※申込締切:11月10日(金)まで

申込 URL: <https://forms.gle/huSKYqBwHuGJkoJ7A>

申込 QR コード:



令和5年度 群馬県歯科医学会 公開セミナー

【講演演題】

「耳鼻科医からみるアレルギー性鼻炎の治療戦略」

【講演要旨】

アレルギー性鼻炎は、発作性反復性のくしゃみ、水様性鼻漏、鼻閉を三主張とします。世界的に有病率が増加しており、日本でも、有病率の増加、患者層の若年化と高齢化が同時に進み、社会問題となってきています。治療としては、抗原回避、薬物療法が基本方針として行われていますが、効果が不十分な例も少なくありません。近年、従来の治療法に加えて、アレルゲン免疫療法、分子標的薬・生物学的製剤などの使用が広まってきています。2023年の鼻アレルギー診療ガイドラインを踏まえて講演させていただく予定です。講演中にお知りになりたい内容などがありましたら、下記のQRコードから事前に募集させていただきます。ご質問、ご要望、お待ちしております。

【講師略歴】

長谷川 央

耳鼻咽喉科長谷川医院 副院長

- ・2001年 高崎高校卒業（100期）（堀越幼稚園→片岡小・中学校）
- ・2007年 日本大学医学部（東京）卒業
- ・2008年 相模原協同病院 臨床研修医（神奈川県）（2年間）
- ・2010年 日本大学耳鼻咽喉科 入局（東京）
- ・2015年 日本大学大学院医学研究科 卒業
- ・2016年 Yale大学耳鼻咽喉科 研究留学（米国コネチカット州）（2年間）
- ・2018年 TMG あさか医療センター（埼玉県）（6ヶ月）
- ・2019年 日本大学耳鼻咽喉科 助手
- ・2021年 日本大学耳鼻咽喉科 助教
- ・2022年 耳鼻咽喉科長谷川医院 副院長

★ご質問・ご要望の募集★ ※締切:11月10日(金)まで

講演中にお知りになりたい内容がございましたらお聞かせください。

申込 URL: <https://forms.gle/aWMLcMpfXKPrFriq7>

申込 QRコード:

